

令和2年度

神奈川の社会教育委員活動  
(県社教連会誌)

神奈川県社会教育委員連絡協議会

## は　じ　め　に

神奈川県社会教育委員連絡協議会会長  
鈴　木　眞　理

神奈川県内の社会教育委員ならびに関係者の皆様には、日頃から生涯学習支援・社会教育の振興についてご尽力いただいていることに敬意を表するとともに、県社会教育委員連絡協議会の活動にご協力・ご支援をいただき深く感謝いたします。

令和2年度は、歴史に残る年になってしまったようです。

新型コロナウイルスの感染蔓延により、社会のさまざまな活動が、制約されました。社会教育の世界でも例外ではなく、社会教育施設の一定期間閉館や利用の制限が加わったりさまざまな事業が中止・延期されたり、変則的な開催を余儀なくされたりしました。この状況は、濃密な人間関係を基礎として営まれてきた社会教育にとって、大きな打撃でした。社会教育委員の全国的な研修・交流の場としての社会教育研究全国大会も、県内参加者のみに限定して、新潟県長岡市で開催されましたが、いつもの大会とは異なる様相を呈していました。それでも、開催するのだという関係者の思いは充分に感じられました。

神奈川県社会教育委員連絡協議会でも、総会も「書面による開催」で、県内の社会教育委員が一堂に会する機会は持てませんでした。総会時の講演は中止、研修会・地区研究会は、形を変えることによって「開催」という苦渋の選択を余儀なくされました。地区研究会は、葉山町と山北町で開催予定でしたが、ともに「書面による開催」、社会教育委員の方々の研究成果をまとめた冊子の作成に代えることによって、これまでの活動をつなぐことが試みられました。通常開催以上のご苦勞があったことと思いますが、この経験を、地域の活動に反映させていただけることを期待しております。

令和3年度も、どういうことになるのか、不透明です。社会教育は継続によって成り立っているともいえます。先人・先輩の思いや活動を是非つないでいければいい、いえ、つないでいかなければと思います。社会教育委員一人一人が、その自覚を持つことが必要なのでしょう。一度やめてしまえば、元に戻すことは困難になります。新型コロナウイルスの感染の終息に関しては、社会教育の成果も試されているのだと思います。どのように地域の人々が対応するのか、それをどう支援するのか、社会教育委員としてその役割を充分検討してみましょう。そういった意味でも、社会教育委員の研鑽は、ますます重要になります。神奈川県社会教育委員連絡協議会の活動に期待されることは、これまでに増して大きなものになると思われれます。

私は、令和2年度で会長を退かせていただきます。この間、さまざまにご協力いただいたことに感謝し、次の方につなぎたいと思います。また、何かの機会にご一緒できれば幸いです。ありがとうございました。

# 目 次

はじめに	神奈川県社会教育委員連絡協議会会長 鈴木 眞理	
I	令和2年度神奈川県社会教育委員連絡協議会活動報告	1
II	総会・研修会の記録	
1	総会（書面開催）概要	6
2	研修会（書面開催）概要	
3	令和2年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会	7
	講演	
	演題 「社会教育と社会教育委員の役割」	
	講師 教職員支援機構つくば中央研修センター長	
	全国社会教育委員連合副会長 清國 祐二 氏	
III	地区研究会報告	
	葉山町	19
	山北町	21
IV	市町村から	23
	「鎌倉市社会教育委員の活動」 鎌倉市社会教育委員 蛭田 道春	
	「藤沢市の社会教育委員会議」 藤沢市社会教育委員会議副議長 稲川 由佳	
	「大和市社会教育委員会議の活動（家庭教育支援事業）について」 大和市社会教育委員会議議長 丸田 昭文	
	「平塚市社会教育委員の活動について」 平塚市社会教育委員 北澤 浩一	
	「南足柄市社会教育委員会議の活動について」 南足柄市社会教育委員会議 池澤 泰彦	
	「開成町の図書室の在り方」 開成町社会教育委員会議副議長 小田 猛	
V	統計に見る神奈川の社会教育	
1	社会教育委員について	32
2	社会教育委員の活動について	40
3	社会教育委員の研修について	46
4	社会教育委員の報酬・旅費及び活動費について	48
5	コロナ禍における社会教育委員会議の開催状況について	50
VI	令和2年度神奈川県社会教育委員連絡協議会役員・顧問・理事・幹事・監事名簿	51
	神奈川県社会教育委員連絡協議会会則・組織図・会誌編集委員	54